

## 1. 目的

かつらぎ町（以下「本町」）下水道事業経営の現状把握や分析・将来予測をした上で、**経営基盤の強化**を目指し、**持続可能な下水道事業**を推進します。

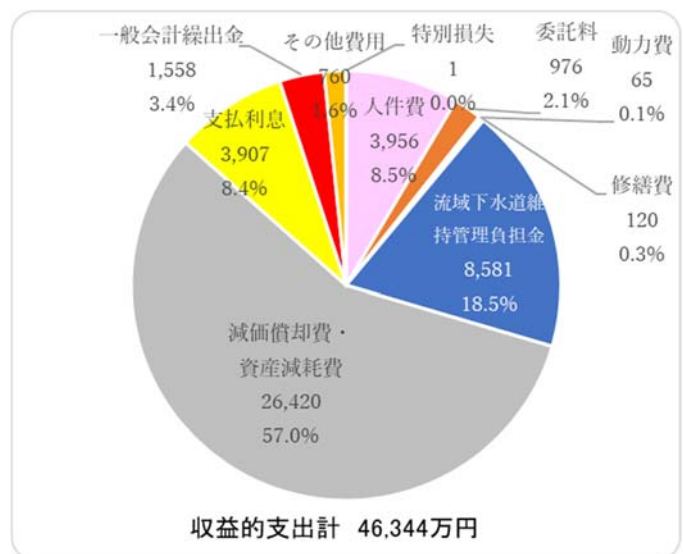
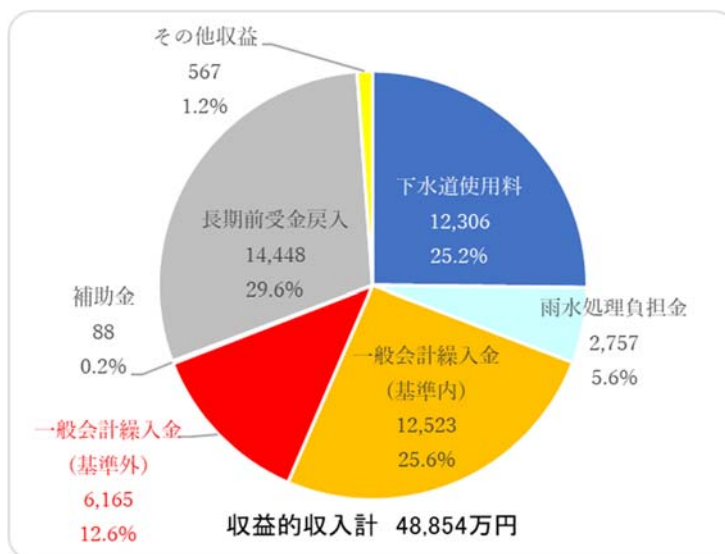
## 2. 現状と課題

令和2年度から令和6年度までの5か年平均の損益計算における収益・費用（収入・支出）の構成を下のグラフに示します。総収支は、約2,510万円の黒字です。

収入を見ると、一般会計繰入金（基準外）があります。これは、下水道使用料収入で経費を賄えていないため、経費を一般会計が負担しているものです。

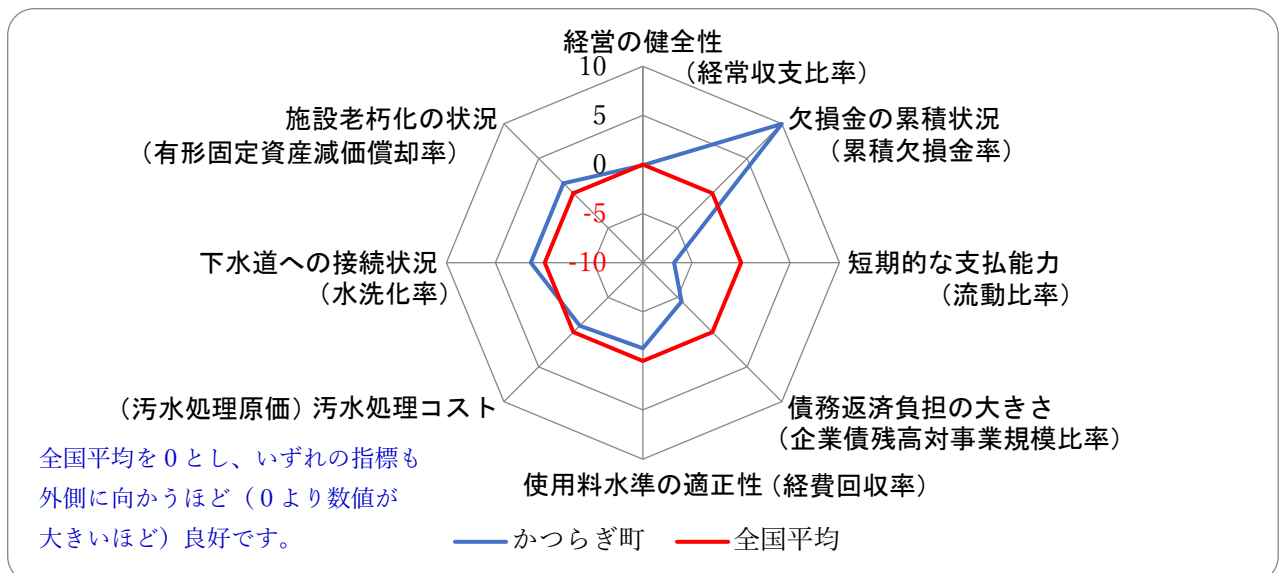
支出を見ると、人件費、減価償却費、支払利息、流域下水道維持管理負担金、動力費で約9割になり、これらは経費削減の余地がほとんどありません。

今後は、原則として下水道の新規投資をしないため（整備事業の概成）使用者の大幅な増加は見込めず、人口減少に伴い下水道使用料収入も減少することが見込まれます。



経営状況や課題を把握できると考えられる指標を抽出し、本町と全国の類似団体との比較により状況の把握と分析をしました。

本町は、使用料水準の適正性（経費回収率）、短期的な支払能力（流動比率）、債務返済負担の大きさ（企業債残高対事業規模比率）に弱みがあります。主な要因として、下水道使用料で経費を賄えていません。また、本町の下水道処理区域内人口密度は低いため採算性が低い、という構造的な問題があると考えます。



3. 財政健全化に向けた取組み

項 目	内 容	実施時期
ストックマネジメント	計画的な点検、調査、改築 削減効果 年間平均 300 万円	継続
新規投資	需要を見込まれる場合を除き縮小 計画面積 759ha → 299ha	継続
下水道使用料の改定	基本使用料 1,570 円／月 1,650 円／月 基本排水量 10 m <sup>3</sup> 10 m <sup>3</sup> 超過使用料 160 円／m <sup>3</sup> 170 円／m <sup>3</sup> 20 m <sup>3</sup> 使用時 3,170 円／月 3,350 円／月	令和 8 年度
一般会計繰入金の縮減	使用料の改定に伴い縮減	令和 8 年度

4. 達成目標

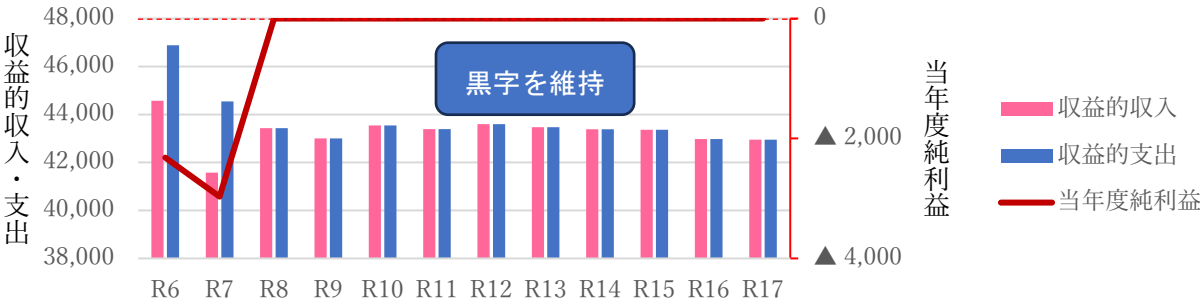
業績指標等	目標の方向性	現状 (R6)	前期 (R12)	後期 (R17)	備 考
経常収支比率 (経営の健全性)	100%以上	95.1%	100%以上		
経費回収率 (使用料水準の適正性)	100%以上	67.1%	80%以上		使用料見直し
一般会計繰入金 (基準外)	減額	6,249 万円	4,000 万円以下		

5. 投資財政計画

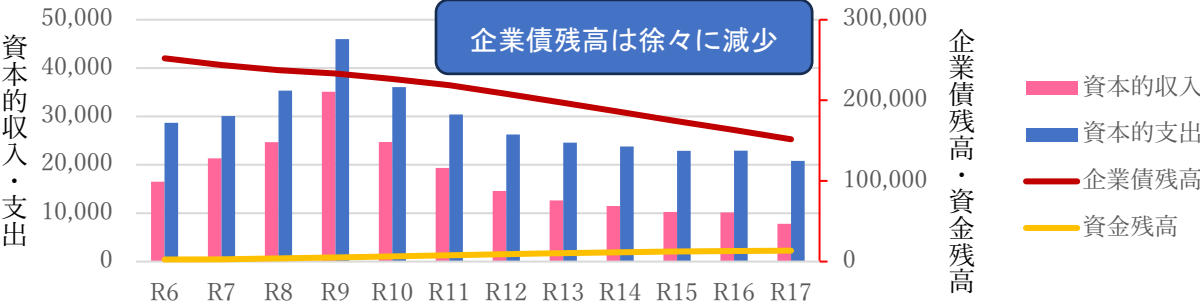
本経営戦略の計画期間中の主な投資と収支計画は、次のとおりです。

項 目	R8～R12	R13～R17	合 計
改築・更新	4,733 万円	2,300 万円	7,033 万円
役場新庁舎付近への新規投資 (整備)	2 億 2,622 万円	0 万円	2 億 2,622 万円

収益的収支・当年度純利益の予定 (単位: 万円)



資本的収支・企業債残高・資金残高の予定 (単位: 万円)



6. 計画の事後検証

経営環境の変化に柔軟に対応するため、PDCA サイクルを導入し、5 年に一度、経営戦略を見直します。